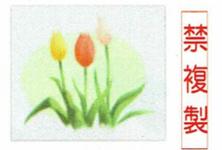


民生レター ちゅーりっぷの風



第56号

2025. 7

発行 此花区民生委員児童委員協議会

連絡先 此花区保健福祉センター福祉担当 ☎ 6466-9566

此花区民生委員児童委員協議会総会

～「笑顔」で「安全」に「安心」して～



令和7年度の此花区民生委員児童委員協議会総会が、6月27日(金)ホテル京阪ユニバーサルタワーで開催されました。

総会の冒頭、令和6年度事業報告及び令和7年度の事業計画の説明を含め、浦野会長から、「本年が此花区制100周年で、大阪・関西万博開催の年、そして民生委員・児童委員として3年任期の最終年という節目の年に、地域の身近な相談相手として地域住民に寄り添いながら、関係機関と連携協働を深め、だれもが孤立することなく「笑顔」で、「安全」に「安心」して暮らせる「『気にかける』地域づくり」に向けて主体的な活動を展開していきたいので、民生委員・児童委員活動の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いしたい」との挨拶がありました。

さらに、会計報告、監査報告があり、総会の第一部が無事に終了しました。またこの後、第二部として懇親会があり、楽しい雰囲気の中で委員同士の交流を大いに深めることができました。



今年 此花区制は100周年を迎えました!

1925（大正14）年に誕生した此花区は、2025（令和7）年4月1日に100歳を迎えました。

此花区役所は、100周年記念事業を単なる節目のお祝いとして一過性で取り組むのではなく、地域と共により素晴らしい街にするきっかけとなることを念頭に、次のような事業を行いました。

- ・「このはな100年の顔」（正蓮寺川公園に設置されたフォトモザイクモニュメント）の作成
- ・広報「このはな」で此花区制100周年を連載

広報「このはな」URL: <https://www.city.osaka.lg.jp/konohana/page/0000182824.html>

- ・此花区制100周年記念ロゴマークと標語を決定

標語：「みんなの笑顔が 咲くやこの花 未来へつなぐ道しるべ」（達 妃都美さん作）

大阪・関西万博が区内で開催され、此花区はますます盛り上がっています。



このはな100年の顔 モニュメント



此花区制100周年記念ロゴマーク
(木野 心愛さん作)

【此花区豆知識】

名前の由来 : もとの北区と西区から分れて新区が創設される時、王仁(わに)が詠んだと伝えられる古歌「難波津に咲くやこの花 冬ごもり 今は春べと 咲くやこの花」から引用して名づけられた。

区の花 : サクラとチューリップ (1990 (平成2) 年、花博開催時に決定)

区のマスコットキャラクター : このはちゃん (2013 (平成25) 年に誕生)

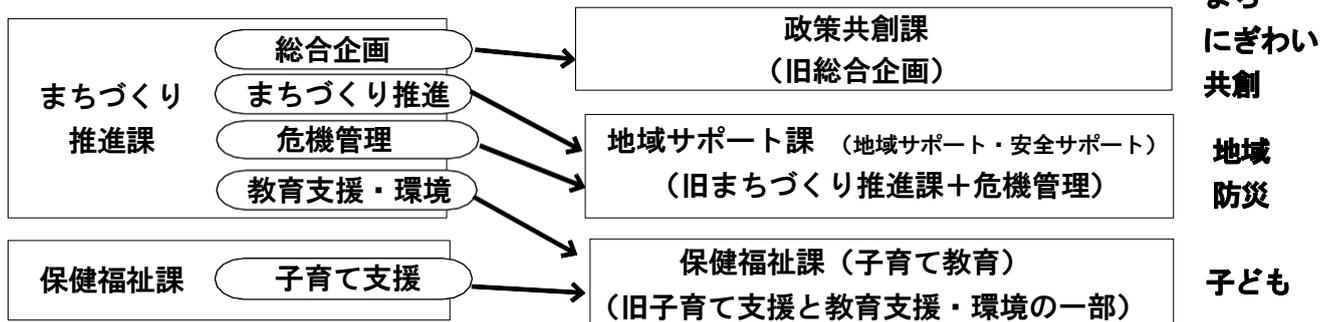


区役所の構成が変わりました

今年度から学校とより連携した子育て支援、また地域サポートの向上のため、まちづくり推進課の教育支援（3階にありました）と保健福祉課の子育て支援（1階にありました）が一本化される（1階になりました）など、区役所の構成が一部変更になりました。

〈令和6年度〉

〈令和7年度〉





マンホールの蓋
(桜島 清瀬)



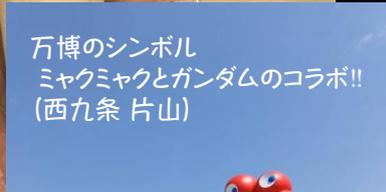
ポップアップステージ西
(四貫島 佐竹)



夜の大屋根リングだよ。(伝法 巖)



ヨルダン楽しかった
(高見 竹花)



万博のシンボル
ミyakyuとガンダムのコラボ!!
(西九条 片山)

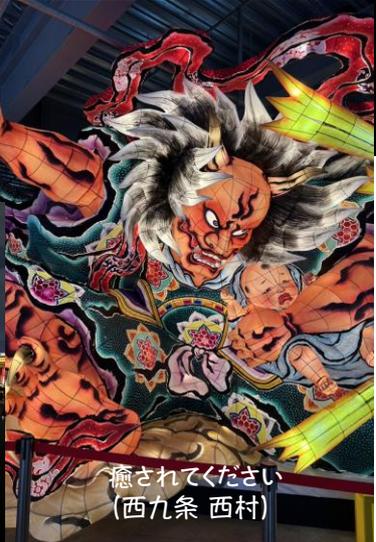


2050

25年後の私
(恩貴島 武井)



家族ではい!ポーズ
(恩貴島 浦野)



癒されてください
(西九条 西村)



万博「25年後の自分」
(梅香 石橋)



EXPOの守護神ガンダム降臨!
(西九条 佐藤)



夜の万博もいいね 🍷
(西九条 川本)



- EXPO 2025
Photo Gallery -

万博写真館



あの阪神園芸さん 桜島駅でも活躍中!
(西九条 飯野)



大屋根リングで1万人の第九熱唱(高見 和田)

エンジョイ万博! ーえっ?ここは此花区?!ー

春日出 角林 佳代子

2025年4月13日、遂に「大阪・関西万博(2025年日本国際博覧会)」が此花区夢洲で開幕しました。それに先立ち、4月6日此花区の民生・児童委員地区委員長の皆さんとテストランに参加しました。

連日、情報番組が問題点を大きく取り上げたり、SNSでのアンチコメントもたくさん目にしていたので、実は私もいささか懐疑的で、「今日行って楽しかったらチケットを買おう」という気持ちでした。入場指定時間より少し遅く着いたので、全く並ぶこともなくすんなりとゲートを通過すると、私のちっぽけな疑念は秒殺されました。「何や!このワクワク感は!!」壮大な大屋根リング。所狭しと建てられたユニークな形のパビリオン。いつも車で舞洲経由で映州(南港)に行くときに通過していたコンテナが並ぶ殺風景な夢洲が、ここまで造り上げられた事に大きな感動を覚えました。まず「母にも見せてあげたい」という気持ちが湧き、バリアフリーな目線も持ちつつ、会場を回りました。

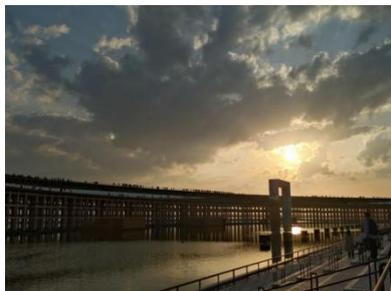
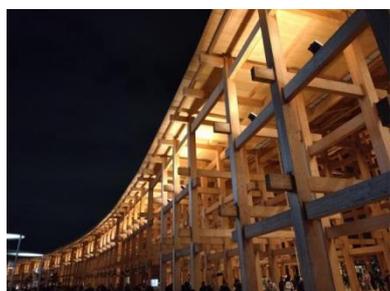
一緒に行った皆さんとは、パソナのパビリオンへ。そこではiPS心臓の展示や、アトムやブラックジャックも登場し、かなり見応えがありました。解散後は、得意の一人行動に。自身が運営するシェアハウスに滞在中の方達が勤務するパビリオンをいくつか回り、通り掛かったEXPOアリーナ「Matsuri」はその日、安全祈願奉納の流鏝馬・笠懸が行われると知り、入ってみました。竹製の馬で流鏝馬の真似事が出来たり、甲冑を着ることが出来るので、もちろん、始まるまでの時間に楽しく体験しました。長い神事後、目の前で繰り広げられた流鏝馬・笠懸は迫力があり、とても勇壮でした。時間を惜しんで、足を棒にしながらひたすら歩き回り、北欧館をはじめ、予約不要のパビリオンにもたくさん入ることが出来ました。

日没後ウォータープラザで行われた水上ショー「アオと夜の虹のパレード」は圧巻で、メッセージ性もあり、とても素晴らしく、不覚にも込み上げて来るものがありました。

万博のパビリオンは仮設建築物にあたる為、建築基準法の一部が適用除外されるので、かなり自由な造り方が出来るのだと後日知り、このワクワク感の所以が理解できました。

万博のテーマが「いのち輝く未来社会のデザイン」で、まるで子どもの頃、図工の時間に描いた「未来の絵」そのものが目の前に現れたかの様な不思議な感覚となりました。そして、決して良い方向に向かっていないであろう地球を、「一人ひとりが何とかしよう!」というメッセージを心から強く感じました。

余談ですが、建設が開幕に間に合わない館があるのは、他の万博でもある事だそうです。万博が始まって尚、批判的な意見を出すのは自由ですが、もう既に始まっているのですから、「楽しみな損やで!!」と私は声を大にして言いたいです。「何度も行って、もっと見たい!」この紙面が出る頃には、多分もう何度か行っていると思います。自分が元気に動いている時代に、「私たちのまち此花区でこんな大きなイベントを経験出来るって、千載一遇のチャンスだ」と感謝と喜びを感じています。



伝法津波避難訓練に参加して

伝法 長谷川 英樹

2月9日、午前9時より東南海地震発生を想定した津波避難訓練が伝法連合振興町会主催により、280人が参加し実施されました。

今回は、避難予想人数に応じて各町会の津波避難ビルが指定されましたので、私たちの町会は市営伝法住宅2号館に各自直行し、安否と人数確認後、階段で5階まで避難しました。（我が町会指定津波避難ビルは近くにあり、スムーズに避難が行われました。また、避難した5階はかなり高い位置で、この下まで津波が来ると思うと恐ろしくなりました）

避難訓練解除後、伝法コミュニティ広場に移動し、防災体験学習が行われました。

- ・火災発生を想定した煙中突破（テント内はスモッグが充満し何も見えず不安でしたが、消防士の声を頼りに出口に向かい外に出てやっと安心しました）
- ・初期消火訓練（水消火器のピンを抜いてノズルを持ち消火、消火器の取り扱いを学びました）
- ・起震車体験（起震車にセットされた椅子にしがみつき、震度5、6、7、衝撃の体験をしました）

これから地震発生後津波警報が発せられたら、情報を確認し周りに声掛けをし、高台に率先避難を心がけたいと思います。また、避難訓練には繰り返し参加する必要があると思いました。



地区活動

うめっ子ひろば

梅香 濱口 由香

コロナ禍等の影響を受け活動を休止していた梅香地区の子育てサロン「うめっ子ひろば」が、昨年3月から再開する運びとなりました。

地域で新たなリーダーが現れ、民生委員、地域のボランティアさんなどメンバーも一新しての手探りの中で、区役所や子育てプラザのご協力を得て一丸となって活動し、ようやく形になってきたように思います。お子さんと一緒に遊びに来てくださる地域のお母様方とともにとても良い時と空間を作ることができてきました。

絵本の読み聞かせや手遊びをはじめ、夏にはプールでの水遊び、クリスマスには着ぐるみを着てのプレゼント配りなど様々なイベントも行うことができました。

これからも従来の方と変わらないことなく、良いことがあれば柔軟に取り入れ、再開した新しい「うめっ子ひろば」を地域の方々と一緒に作っていったら良いなと思っています。



人物往来

地区民生委員として

伝法 阪口 公一



早いもんだナア～、地域の町会長よりお前、民生委員をやれと言われて20数年、其の方も現在他界されております。区役所3階での民生委員・児童委員委嘱状伝達式が、つい最近のように思い出されます。ホールの椅子に座って待っている間、50歳代になっても胸が子供の時の様にドキドキと鼓動が高まるのを今でも覚えております。

私は地味に委員活動をやってまいりました、目立たないけど長くコツコツとそれが私の一番の特色かな～と思います。

ある日こんな事もありました。当時の民生委員長から裁判員制度について大阪地方裁判所に民生委員活動として見学に行った時の感想を出す様に指示されました。それが何号のちゅーりっぷの風か忘れましたが、掲載されているのを後で見ると恥ずかしく思いました。其の時の委員長も他界されております。

今回のちゅーりっぷの風が、発刊される頃は私は喜寿を迎えて数ヶ月経った時と思います。あと残りの任期を、思い残す事無く、現民生委員・児童委員さんと一緒に頑張りたいと思います。又一緒に編集委員としてやってきた仲間たち、もう少しお付き合いをよろしくお願いします。

それでは最後にOBの方々、現民生委員・児童委員、区役所の方々本当に今迄お付き合い有難う御座いました。まだもう少し任期が残っています、頑張ります。

退任を前にして

恩貴島 菅波 潤子



この度、任期満了で退任の日を迎える事になりました。

私自身も後期高齢者となり、体力の衰えを感じる中で、見守りの方や地域の担当の方々に親身に接する事ができたかどうか、もう少しやれる事があったのではないかとの思いが残る日々です。特にコロナの期間もあり接し方に迷う事も多々ありました。

一方、私自身にとってはこの役を通して沢山の世の中の事を知ることができたと思っています。

高齢の方、体の不自由な方、いろいろな立場の方の思いと共に、講習会、研修会を通して人権問題や個人情報の事など、自分には思いもよらぬところに問題や課題があるなど考えさせられる事も多くありました。

この様な研修などで人々の多様性、個々の方の物の考え方の自由を尊重する事の大切さなど学ばせていただきました。物の考え方を変え、思いを深くする日々でした。

あと少しの任期になりますが一人でも多くの方によりそい、お役に立てればと思います。

長い間ありがとうございました。



編集後記

今年は此花区制100周年、夢洲における大阪・関西万博の開催、そして民生委員児童委員の改選という節目の年であり、これを記念して関係する記事を今号に盛り込んではどうかと編集委員会で意見が出て、3度の会議を経てこの56号を無事発行する運びとなりました。

特に中ほどの万博特集の紙面では、委員の皆様が万博を訪れ撮った写真を募集し、掲載させていただきました。紙面の都合上全てを載せることはできませんでしたが、ご協力いただき、誠にありがとうございました。

この「ちゅーりっぷの風」は此花区における民生委員・児童委員の情報交換の場でもあり、皆様の日頃の活動、趣味など多岐にわたる原稿を広く募集していますので、何卒よろしくお願いたします。

編集委員会